

Panasonic®

取扱説明書 ブラウザ編 センターモジュール

品番 WX-CC411
WX-CC412



はじめに

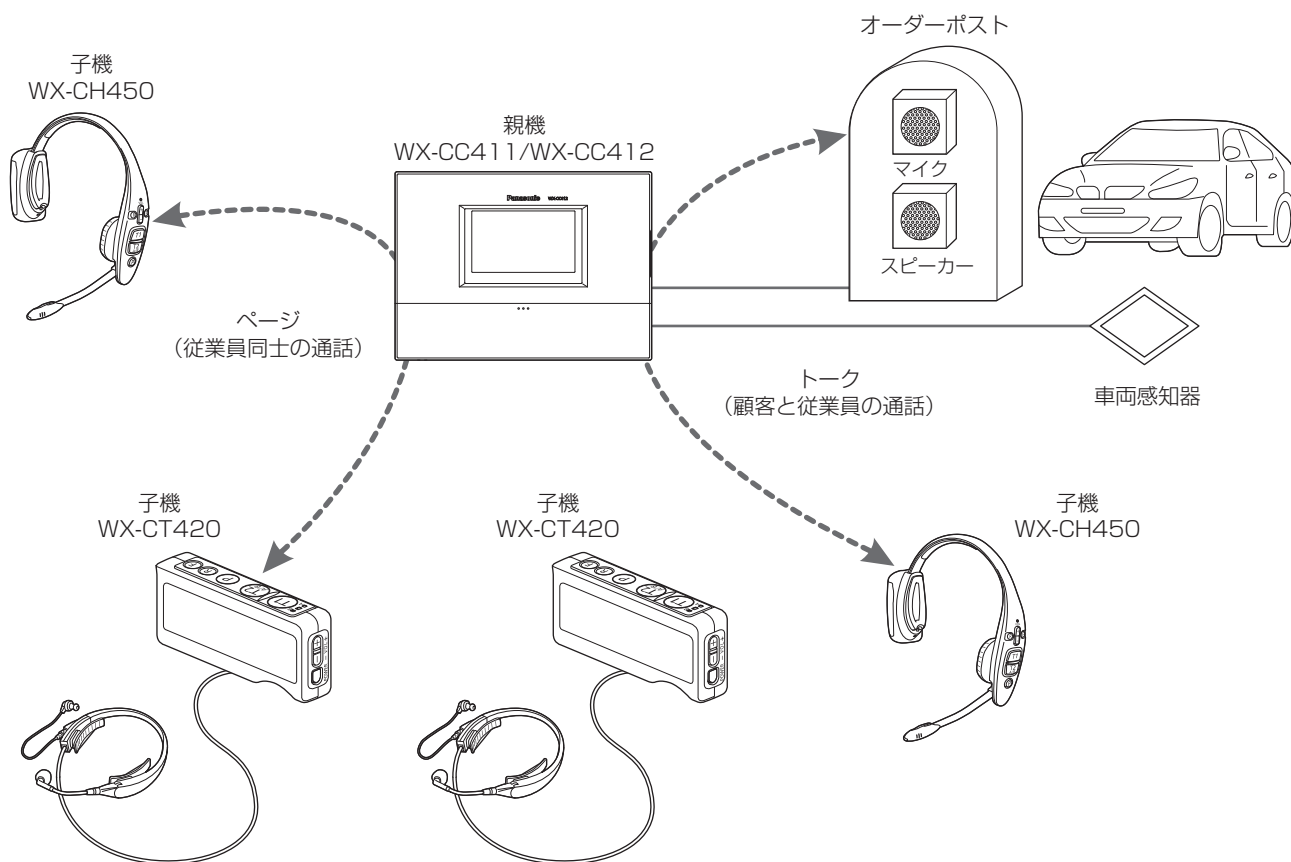
■商品概要

センターモジュールWX-CC411、WX-CC412は、ドライブスルー型店舗で使用されるワイヤレスインターカムシステムの親機です。

- WX-CC411はドライブスルー店舗のシングルレーンに、WX-CC412はデュアルレーンに対応します。
- 1.9 GHz帯DECT※準拠方式を採用することにより、広いエリアで明瞭な会話ができ、干渉を受けることが少なく安定した通信ができます。
※ DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications)：デジタルコードレス電話の通信規格
- 強力なエコーキャンセラーとデジタルノイズリダクションにより、高い音声の明瞭度が得られます。
- キャビネットは壁掛けに対応しており、簡単に設置できます。
- 1台あたり32台の子機を登録できます。また、1レーンあたり4人同時に通話が可能です。
- タッチパネル付7型液晶画面を持ち、簡単に操作できます。
- イーサネット/IPネットワークに接続し、リモート操作が可能です。
- SDカードで設定内容のバックアップとリストア、店舗独自のメッセージの保存ができます。
- スケジューラを内蔵しており、指定した時間にグリーターメッセージを差し替えたり、リマインダーメッセージを自動的に再生することができます。
- 弊社製ネットワークカメラを4台まで登録し、その映像を本機の液晶画面で確認することができます。
- アラート信号を受け取ってアラートメッセージを子機に通知したり、外部デバイスに信号を出力したり、アラートEメールを外部に送信することができます。

■システムイメージ図

センターモジュールと子機が無線接続することで、子機同士、または子機とオーダーポストにいる顧客との通話ができます。



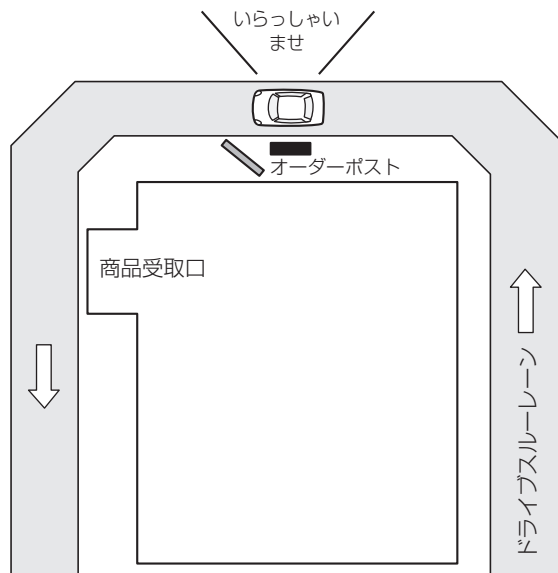
はじめに

■運用について

本システムでは、以下のドライブスルーに適した運用をサポートします。

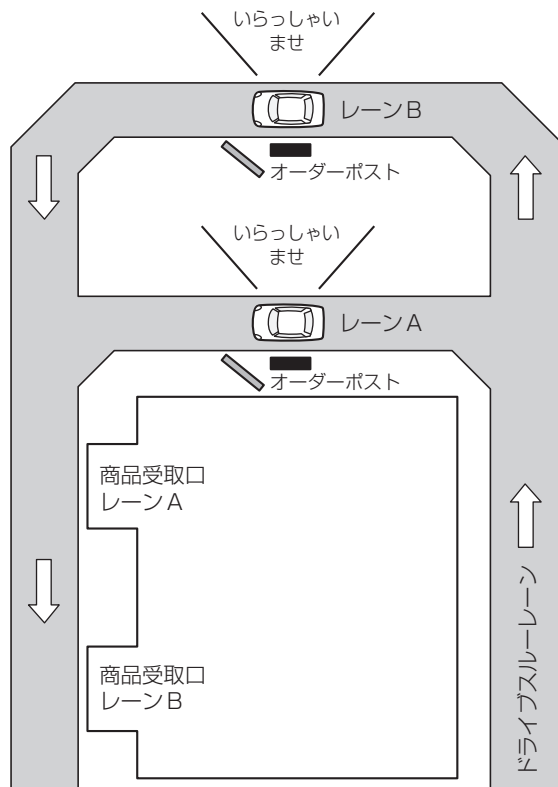
シングルレーン

オーダーポストが1台のみ設置されている環境下での運用をシングルレーンと言います。
WX-CC411が対応しているレーン運用です。



デュアルレーン

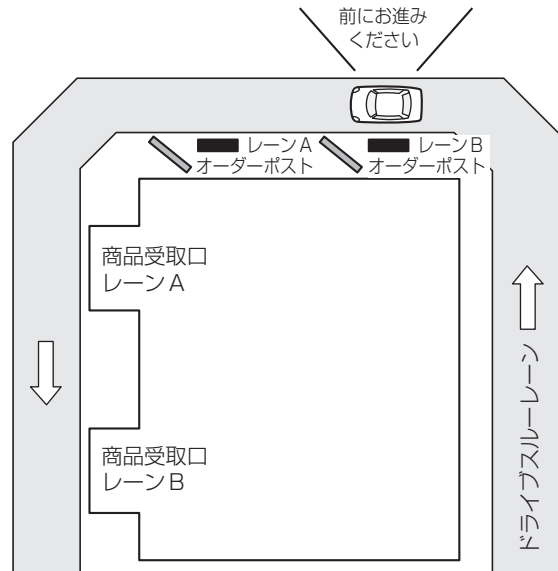
オーダーポストを並列に設置している環境下での運用をデュアルレーンと言います。
デュアルレーンでは、レーンAとレーンBの車両感知器は独立しており、各々の車両感知器がONになったときにそれぞれグリーターメッセージを再生します。
WX-CC412が対応しているレーン運用です。



はじめに

タンデムレーン

オーダーポストを直列に設置している環境下での運用をタンデムレーンと言います。レーンAの車両感知器がOFFの状態、レーンBの車両感知器がONになったときにレーンAへの移動を促すタンデムレーンメッセージを再生します。WX-CC412が対応しているレーン運用です。



■取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 設置編、取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) および取扱説明書 ブラウザ編 (PDF ファイル) で構成されています。

- 取扱説明書 設置編 : 必要な機器との接続や設置のしかた、設定方法 (抜粋) について説明しています。
- 取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) : 本機を使用するにあたっての設定について説明しています。
- 取扱説明書 ブラウザ編 (本書: PDF ファイル) : ブラウザからのアクセスについて説明しています。

PDF ファイルをお読みにするには、アドビシステムズ社の Adobe Reader 日本語版が必要です。パソコンに Adobe Reader 日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新の Adobe Reader 日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

重要

- 取扱説明書 設定編の入手は、パナソニックサポートウェブサイト (http://panasonic.biz/it/sound/manual/num_01.html) からダウンロードしてください。

はじめに

■必要なパソコンの環境

CPU	1 GHz以上の32ビット(x86)プロセッサまたは64ビット(x64)プロセッサ
メモリ	1 GB (32ビット) または 2 GB (64ビット)
ネットワーク機能	10BASE-T または 100BASE-TX 1 ポート
対応 OS	Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32ビット日本語版 Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット日本語版 Microsoft® Windows® 8 Pro 32ビット日本語版 Microsoft® Windows® 8 Pro 64ビット日本語版 Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32ビット日本語版 Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット日本語版
ウェブブラウザ	Microsoft® Windows® Internet Explorer 9/10 日本語版

■商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat Reader および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64ビット日本語版、Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 8 Pro 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 8 Pro 64ビット日本語版、Microsoft® Windows® 8.1 Pro 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 8.1 Pro 64ビット日本語版を Windows と表記しています。
- SDHC / SD メモリーカードを SD カード と表記しています。
- Universal Plug and Play を UPnP™ または UPnP と表記しています。

もくじ

はじめに	2	情報表示メニュー	33
商品概要	2	子機の状態を確認する	33
システムイメージ図	2	アラートの発生状況を確認する	33
運用について	3	故障かな！？	35
取扱説明書について	4		
必要なパソコンの環境	5		
商標および登録商標について	5		
略称について	5		
使用上のお願い	7		
ルーターについて	7		
ブラウザ更新速度について	7		
対応ブラウザについて	7		
ネットワークについて	8		
接続例	8		
ネットワークセキュリティについて	8		
ブラウザ操作	9		
パソコンからセンターモジュールに接続する	9		
設定方法について	9		
操作画面について	10		
設定メニューについて	10		
設置時の設定・確認を行う	11		
子機のグループ設定を確認する	17		
店舗の設定を確認する	17		
レーン別設定の設定・確認を行う	19		
メッセージの設定を確認する	20		
セキュリティアラートの設定を確認する	25		
SDカードの空き容量を確認する	26		
クイック設定を確認する	27		
設定をバックアップする	27		
センターモジュールのメンテナンスを行う	28		

使用上のお願い

■ルーターについて

ルーターを使用してセンターモジュールをインターネットに接続する場合、ポートフォワーディング機能（NAT、IP マスカレード）付きのブロードバンドルーターを使用してください。

■ブラウザ更新速度について

ブラウザ更新速度は、ご利用のネットワーク環境、パソコンの性能、アクセス数により遅くなることがあります。

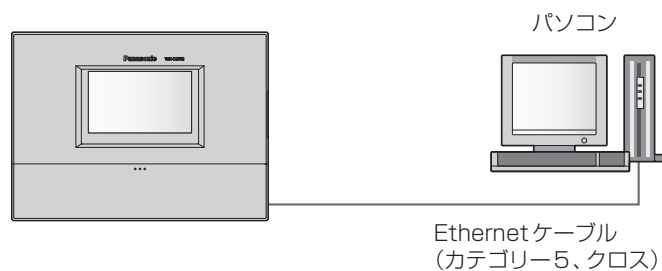
■対応ブラウザについて

本機は Internet Explorer 9/10 に対応しています。他のブラウザや異なるバージョンの Internet Explorer をご使用の場合、正しく表示されなかったり、正常に動作しないことがあります。

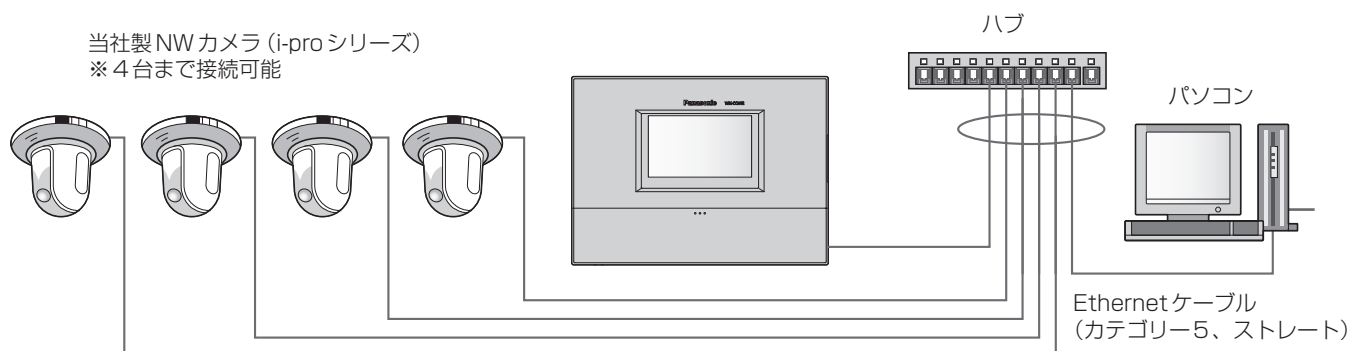
ネットワークについて

■接続例

●パソコンと直接接続する場合



●ハブを接続してネットワークに接続する場合



■ネットワークセキュリティについて

センターモジュールに装備されているセキュリティ機能

① ユーザー認証によるアクセスの制限

センターモジュールにアクセスするユーザーを制限することができます。

② HTTP ポートの変更によるアクセスの制限

HTTP ポート番号を変更することで、ポートスキャンなどの不正アクセスを防止できます。

③ HTTPS 機能によるアクセスの暗号化

HTTPS 機能を使用することで、センターモジュールへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

重要

- 認証情報（ユーザー名、パスワード）、各種サーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証でアクセス制限する、HTTPS 機能でアクセスを暗号化するなどの対策を実施してください。
- センターモジュールにアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのブラウザを閉じてください。
- ユーザー ID、パスワードはセキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

メモ

- 同じ IP アドレスのパソコンから 30 秒間に 8 回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、しばらくの間、センターモジュールにアクセスできなくなります。
- 無操作のまま 10 分以上経過した場合、ボタン操作を行っても反映されず、認証後の画面に移動します。

ブラウザ操作

■ パソコンからセンターモジュールに接続する

- 1 パソコンのウェブブラウザを起動します。
- 2 センターモジュールのIPアドレスをウェブブラウザの[アドレスバー]に入力します。

例) http://センターモジュールのIPアドレス
工場出荷時は以下の設定で動作します。
IPアドレス : 192.168.0.50
ポート番号 : 80
プロトコル : http

重要

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://センターモジュールのIPアドレス：ポート番号」を[アドレスバー]に入力してください。
例) ポート番号が8080に設定されている場合：
http://192.168.0.50:8080

- 3 センターモジュールとパソコンの接続が確立すると、認証ポップアップ画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力します。

初期設定のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。
ユーザー名 : admin
パスワード : 12345

- 認証が成功すると、操作画面が表示されます。

メモ

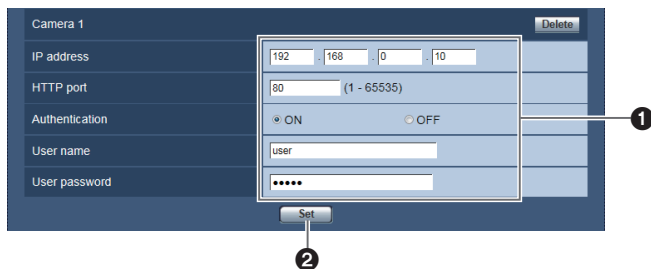
- センターモジュールのIPアドレスはセンターモジュールの画面で確認することができます。詳しくは取扱説明書 設置編をお読みください。

重要

- セキュリティを確保するため、ユーザー名やパスワードは必ず変更してください。詳しくは「サーバー設定を行う」(13ページ)を参照してください。

■ 設定方法について

ブラウザ操作で設定を行う場合の基本的な操作方法について説明します。



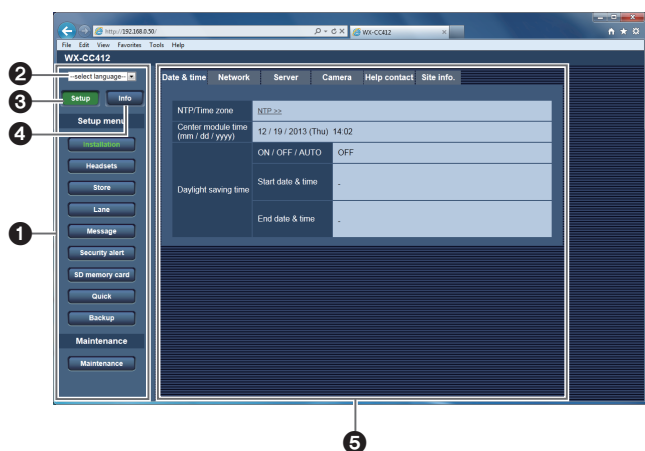
- 1 設定項目に必要な内容を入力します。
- 2 [Set] ボタンをクリックします。

重要

- [Set] ボタンをクリックしないと設定が反映されません。
- ボタンは連打しないでください。設定が正しく反映されない場合があります。

ブラウザ操作

■ 操作画面について



① メニューパネル

メニューごとにパネルを表示します。
メニューパネルには、設定メニューパネルと情報表示メニューパネルがあります。

② 言語切り換えプルダウン [select language]

画面に表示される言語を切り換えることができます。
切換可能な言語は英語とフランス語です。認証後の画面は英語で表示されます。

③ 設定ボタン [Setup]

選択時はボタンが緑色に変わり、メニューパネルが設定メニューパネルに切り換わります。(右記)

④ 情報表示ボタン [Info]

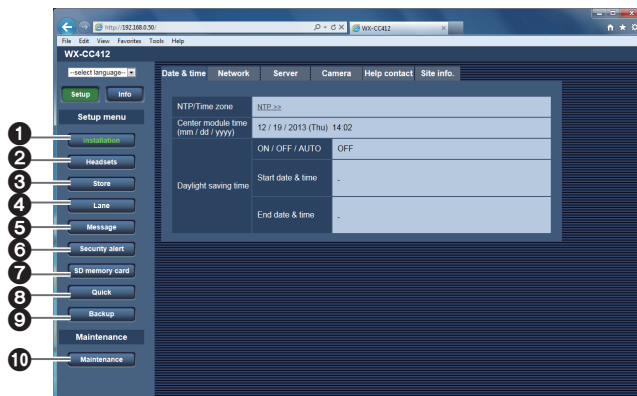
選択時はボタンが緑色に変わり、メニューパネルが情報表示メニューパネルに切り換わります。(33 ページ)

⑤ メインエリア

選択したボタンに応じた画面を表示します。

■ 設定メニューについて

[Setup] ボタンをクリックすると、メニューパネルが設定メニューパネルに切り換わります。



Setup menu

① [Installation] ボタン

センターモジュールの設置設定に関する設定および設定の確認を行います。(11 ページ)

② [Headsets] ボタン

グループ 1 ～ 6 に所属する子機を確認することができます。(17 ページ)

③ [Store] ボタン

店舗運用に関わる設定を確認します。(17 ページ)

④ [Lane] ボタン

レーン毎の設定を確認します。(19 ページ)

⑤ [Message] ボタン

グリーターメッセージ、リマインダーメッセージ、アラートメッセージの設定を確認します。グリーターメッセージとリマインダーメッセージはスケジュール設定を確認することができます。また、メッセージに使用している音源ファイルの差し替えやダウンロードをすることができます。(20 ページ)

⑥ [Security alert] ボタン

セキュリティアラート発生時の動作設定を確認します。(25 ページ)

ブラウザ操作

⑦ [SD memory card] ボタン

センターモジュールに挿入されているSDカードの総容量と残容量を確認します。(26ページ)

⑧ [Quick] ボタン

センターモジュールの  (クイック設定ボタン) をタッチして設定した運用設定を確認します。(27ページ)

⑨ [Backup] ボタン

センターモジュールの設定データおよびメッセージ用音源ファイルをバックアップすることができます。(27ページ)

Maintenance

⑩ [Maintenance] ボタン

各種メンテナンスを行います。

重要

- メンテナンスは保守担当者向けのメニューです。メンテナンスメニューで設定や操作を行うと店舗運用に影響を及ぼすことがあります。

■ 設置時の設定・確認を行う

日時設定、ネットワーク設定、各種サーバー設定、ネットワークカメラ設定、ヘルプコンタクト、サイトインフォメーションなど設置に関する設定、設定の確認を行います。画面を表示するには設定メニューパネルの [Installation] ボタンをクリックします。

● 日付設定を確認する [Date & time]

センターモジュールの日付およびサマータイム設定を確認します。

本画面を表示するには [Installation] ボタン→ [Date & time] タブをクリックします。認証後に以下の画面表示が表示されます。

Date & time	Network	Server	Camera	Help contact	Site info.
NTP/Time zone					
NTP>>					
Center module time (mm / dd / yyyy)					
12 / 19 / 2013 (Thu) 14:29					
ON / OFF / AUTO					
AUTO					
Daylight saving time					
Start date & time					
MONTH	DAY	Time			
03	2nd Sun	02:00			
End date & time					
MONTH	DAY	Time			
11	1st Sun	02:00			

[NTP/ Time zone]

[NTP>>] をクリックすると [Server] タブが表示されます。[Server] タブでNTPサーバーの設定を行うことができます。

[Center module time]

センターモジュールの現在日時が表示されます。年月日は月/日/年の順で表示されます。時刻は24時間表示です。

[Daylight saving time ON / OFF / AUTO]

サマータイムの設定が表示されます。

ON： 時刻をサマータイムにします。(現在時刻を1時間進める)

OFF： サマータイムを解除します。

AUTO：開始日時、終了日時設定(月、週、曜日、時刻)にしたがって、サマータイム時刻に切り換えます。

[Daylight saving time Start date & time]、[Daylight saving time End date & time]

サマータイムの設定がAUTOのときの開始日時と終了日時が表示されます。

ブラウザ操作

●ネットワーク設定を行う [Network]

センターモジュールのネットワーク設定を行います。
[Installation] ボタン→ [Network] タブをクリックします。

IPv4 Network

[DHCP/Static]

センターモジュールのDHCP設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

DHCP : DHCP設定がONで動作しています。

Static : DHCP設定がOFF（固定IPアドレス）で動作しています。

[MAC address]

センターモジュールのMACアドレスを表示します。

[IP address]

センターモジュールのIPアドレスを表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[Subnet mask]

センターモジュールのサブネットマスクを表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[Default gateway]

センターモジュールのデフォルトゲートウェイを表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[DNS Auto / Manual]

DNSサーバーのアドレスを自動（「Auto」）で取得するか、手動で入力する（「Manual」）かを設定します。

「Manual」に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。

DHCP機能を使用する場合は、「Auto」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

初期設定：Manual

[Primary DNS server address]、[Secondary DNS server address]

「DNS」を「Manual」で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

初期設定：なし（空白）

[Line speed]

センターモジュールのネットワーク通信速度設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

Web server

[Connection]

センターモジュールへの接続方法を設定します。

HTTP : HTTP接続のみ可能になります。

HTTPS : HTTPS接続のみ可能になります。

初期設定 : HTTP

[HTTP port]

HTTPで使用するポート番号を設定します。

設定可能ポート番号：1 ～ 65535

初期設定：80

[HTTPS port]

HTTPSで使用するポート番号を設定します。

設定可能ポート番号：1 ～ 65535

初期設定：443

重要

- Web server設定を変更するとセンターモジュールは自動的に再起動します。
- HTTPSを選択した場合、センターモジュールはSSLサーバー証明書を自動的に生成します。SSL自己証明書のみに対応しています。
- 以下のポート番号は、設定できません。（ただし、初期設定で設定されているポート番号を除く）
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

ブラウザ操作

UPnP

センターモジュールは、UPnP (Universal Plug and Play) に対応しています。UPnP 機能を使用すると、以下の設定を自動で行うことができます。

ルーターのポートフォワーディング機能を設定してください。(ただし、UPnP対応のルーターが必要です。) この設定はインターネットからセンターモジュールにアクセスする場合に便利です。

[Auto port forwarding]

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをON / OFFで設定します。自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。

初期設定：OFF

メモ

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、パソコンに登録されているセンターモジュールのポート番号を変更する必要があります。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、設定メニューパネルの[Maintenance] ボタンの[Status] タブをクリックし、[UPnP] のステータスが[Enabled] になっていることを確認します。

重要

- UPnPの設定を変更するとセンターモジュールは自動的に再起動します。
- ポートフォワーディング設定変更時はルーターの取扱説明書にしたがって、ルーターの状態を確認してください。

●サーバー設定を行う [Server]

センターモジュールが接続するサーバーの設定を行います。
[Installation] ボタン→ [Server] タブをクリックします。

NTP

NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使用してください。

[Default] ボタン

NTPの設定を初期設定に戻します。

[Time adjust]

NTPサーバーから時刻を取得するかどうかの設定を行います。

ON : NTPサーバーと同期し、センターモジュールの日時を自動調整します。

OFF : NTPサーバーと同期しません。

初期設定：OFF

[NTP server address (Manual / Auto)]

[Time adjust] で [ON] を選択した場合、NTPサーバーのアドレス取得方法を選択します。

Manual : NTPサーバーアドレスを [NTP server address] に入力して設定します。

Auto : DHCPサーバーからNTPサーバーのアドレスを取得します。

初期設定：Manual

重要

- 「[NTP server address]」をDHCPサーバーから取得する場合は、センターモジュール側の操作によりDHCP機能を有効にする必要があります。

ブラウザ操作

[NTP server address]

[NTP server address (Manual / Auto)] で「Manual」を選択した場合は、NTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1 ～ 128 文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号 -.

初期設定：なし (空白)

重要

- 「NTP server address」にホスト名を入力するには、設定メニューパネルの [Installation] ボタンの [Network] タブで DNS の設定を行う必要があります。

[NTP port]

NTP サーバーのポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1 ～ 65535

初期設定：123

重要

- 以下のポート番号は、設定できません。(ただし、初期設定で設定されているポート番号を除く)
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

[Time adjustment interval time]

NTP サーバーから時刻を取得する間隔 (1 ～ 24 時間で 1 時間単位) を選択します。

初期設定：1h

[Time zone]

使用する地域に応じたタイムゾーンを選択します。

初期設定：GMT-06:00 Central Standard Time

SMTP

センターモジュールからメールを送信するためのメールサーバーの設定を行います。

[Default] ボタン

SMTP の設定を初期設定に戻します。

[SMTP server address]

電子メールを送信する SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1 ～ 128 文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号 -.

初期設定：なし (空白)

[SMTP server port]

メールを送信するポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1 ～ 65535

初期設定：25

重要

- 以下のポート番号は、設定できません。(ただし、初期設定で設定されているポート番号を除く)
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

Authentication

• Type

メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。

None：認証しません

POP before SMTP：

電子メールを送信する前に、メールを受信する POP サーバーの認証を行います。

SMTP：SMTP サーバーの認証を行います。

初期設定：None

メモ

- 電子メールを送信するための認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

• User name

サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数：0 ～ 32 文字

入力可能文字：半角英数字、

半角記号 !#\$%&'()*=+,-./:;<>?_`^[]/@*.,+¥

初期設定：なし (空白)

• User password

サーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0 ～ 32 文字

入力可能文字：半角英数字、

半角記号 !#\$%&'()*=+,-./:;<>?_`^[]/@*.,+¥

初期設定：なし (空白)

[POP3 server address]

[Authentication Type] で [POP before SMTP] を選択した場合は、POP3 サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1 ～ 128 文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号 -.

初期設定：なし (空白)

ブラウザ操作

[Sender's E-mail address]

送信元のメールアドレスを入力します。入力したメールアドレスは、受信メールの「From（差出人）」欄に表示されます。

入力可能文字数：3 ～ 128 文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号 @ . _ -

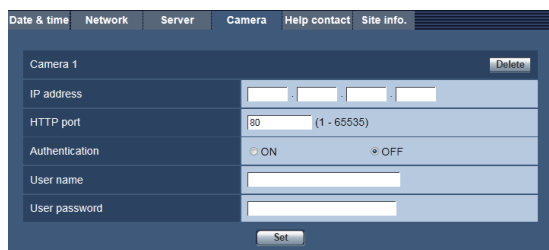
初期設定：なし（空白）

●接続するネットワークカメラの設定を行う

[Camera]

センターモジュールの液晶画面に表示するネットワークカメラの設定を行います。ネットワークカメラの設定を行うと車両検知器、セキュリティアラートに連動してセンターモジュールの画面にカメラ映像を表示することができます。

[Installation] ボタン→ [Camera] タブをクリックします。



Camera 1 ～ 4

センターモジュールは最大4台のネットワークカメラと接続することができます。ここでは接続するネットワークカメラの設定を行います。

重要

- センターモジュールで接続可能なネットワークカメラはパナソニック製 i-pro シリーズのネットワークカメラです。
- ネットワークカメラ側の「接続方法」を必ず HTTP に設定してください。
- ネットワークカメラ側の設定は、以下のようになしてください。
 - ・アスペクト比： 4：3
 - ・画質：標準

[Delete] ボタン

ネットワークカメラの設定を初期設定に戻します。

[IP address]

接続するネットワークカメラの IP アドレスを入力します。

初期設定：なし（空白）

[HTTP port]

接続するネットワークカメラのポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1 ～ 65535

初期設定：80

[Authentication]

ネットワークカメラでユーザー認証設定が「ON」に設定されている場合は、本項目を設定してください。

ON : ネットワークカメラに接続時、ユーザー認証を行います。

OFF : ネットワークカメラに接続時、ユーザー認証を行いません。

[User name]

[Authentication] で [ON] を選択した場合、ネットワークカメラにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数：0 ～ 32 文字

初期設定：なし（空白）

[User password]

[Authentication] で [ON] を選択した場合、ネットワークカメラにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0 ～ 32 文字

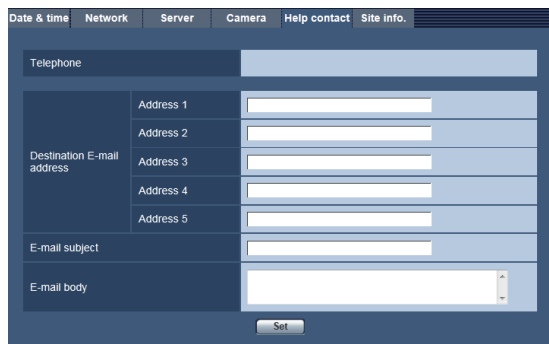
初期設定：なし（空白）

ブラウザ操作

●ヘルプコンタクトの設定を行う

[Help contact]

センターモジュールの液晶画面で表示するヘルプコンタクト画面の電話番号の確認とメールの送信設定を行います。
[Installation] ボタン→ [Help contact] タブをクリックします。



[Telephone]

連絡先の電話番号を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

ヘルプコンタクトメール送信設定

液晶画面のヘルプコンタクト画面から送信するメール内容を設定します。

[Destination E-mail address]

送信先アドレスを設定します。同報送信先を5つまで設定することができます。

入力可能文字数：3 ～ 128 文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号@ . _ -

[E-mail subject]

メールの件名を入力します。

入力可能文字数：0 ～ 50 文字

[E-mail body]

メールの本文を入力します。

入力可能文字数：0 ～ 200 文字

メモ

- メールを送信する場合は事前にSMTPサーバーの設定が必要です。SMTPサーバーの設定は [Installation] ボタン→ [Server] タブで行います。
- メール本文には以下の代替文字を使用することができます。代替文字はメール送信時に対応する文字列に変換されて送信されます。

代替文字	変換後の文字列
%d%	Help contact メール送信日 例) 05
%M%	Help contact メール送信月 (英文字) 例) Feb
%m%	Help contact メール送信月 (数字) 例) 02
%Y%	Help contact メール送信年 (4桁) 例) 2014
%y%	Help contact メール送信年 (下2桁) 例) 14
%t%	Help contact メール送信時刻 例) 15:00:00
%i%	センターモジュールのIPアドレス
%s%	Site information で入力した情報

重要

- ヘルプコンタクトのメールを使用する場合は設置時にあらかじめ正常にメール送信できることをご確認ください。

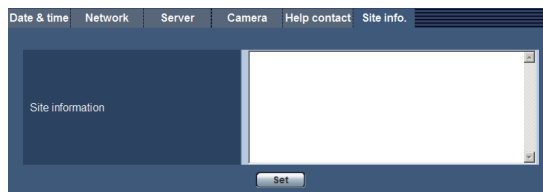
●サイトインフォメーションの設定を行う

[Site info.]

店舗の連絡先や管理情報など、設置店舗固有の情報を入力します。ブラウザから店舗の情報を参照するときに使用します。本情報はブラウザからのみ設定・参照することができます。

[Installation] ボタン→ [Site info.] タブをクリックします。

入力可能文字数：0 ～ 200 文字



ブラウザ操作

■子機のグループ設定を確認する

子機のグループ設定を確認します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。画面を表示するには設定メニューパネルの [Headsets] ボタンをクリックします。

Group1	Group2	Group3	Group4	Group5	Group6
Headset 1	OFF				
Headset 2	ON				
Headset 3	ON				
Headset 4	OFF				

参照するグループのタブ (Group1 ~6) をクリックします。グループに所属している子機は緑文字で「ON」、所属していない子機は黒文字で「OFF」と表示されます。

■店舗の設定を確認する

ナイトタイムボリューム、ストアアワーズ、タンデムレーン (WX-CC412のみ) の設定を確認します。画面を表示するには設定メニューパネルの [Store] ボタンをクリックします。

●ナイトタイムボリュームの設定を確認する [Nighttime volume]

ナイトタイムボリュームの設定を確認します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。[Store] ボタン→ [Nighttime volume] タブをクリックします。

Nighttime volume	Store hours	Tandem lane
Nighttime volume	Auto	
Level (-20 - 0dB)	-10dB	
Start time / Ending time	23:00 - 06:00	

[Nighttime volume]

ナイトタイムボリュームを使用するかどうかの設定を表示します。

OFF： オーダーポストスピーカーの音量レベルを変更しません。

ON： オーダーポストスピーカーの音量を小さくします。

Auto： 毎日開始時刻、終了時刻にしたがって、自動的にオーダーポストスピーカーから出力される音声の音量を小さくします。

[Level (-20 ~ 0 dB)]

音声の抑圧レベルを表示します。

[Start time / Ending time]

ナイトタイムボリュームの開始、終了時刻を表示します。ナイトタイムボリューム設定で「Auto」を選択している場合はこの時刻に従って音量を制御します。

ブラウザ操作

●ストアアワーズの設定を確認する [Store hours]

ストアアワーズの設定を確認します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。
[Store] ボタン→ [Store hours] タブをクリックします。

Store hours		
Store hours: Auto		
Closed message		
Message: G05:Closed Greeter		
Day hours	Mon	07:00 - 23:00
	Tue	07:00 - 23:00
	Wed	07:00 - 23:00
	Thu	07:00 - 23:00
	Fri	07:00 - 23:00
	Sat	-
	Sun	-
Holiday message		
Message: G04:Halloween Greeter		

Store hours

[Store hours]

ストアアワーズを使用するかどうかの設定を表示します。

OFF： 車両感知器がONの時、スケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。

Auto： 車両感知器がONの時、営業時間内であればスケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。営業時間外であれば閉店用グリーターメッセージを再生します。

Closed： 車両感知器がONの時、常に閉店用グリーターメッセージを再生します。レーンを閉鎖している時などに使用します。

Holiday： 車両感知器がONの時、常に休日用グリーターメッセージを再生します。クリスマスやハロウィーンなど特別な日に流すグリーターメッセージに変更するときに使用します。

Closed message

[Message]

営業時間外（ストアアワーズ設定がClosed、あるいはAUTOで営業時間外）のときに再生するグリーターメッセージを表示します。

[Day hours]

各曜日の営業時間設定を表示します。

Holiday message

[Message]

[Store hours] 設定がHoliday設定のときに再生するグリーターメッセージを表示します。

●タンデムレーンの設定を確認する [Tandem lane]（WX-CC412のみ）

Tandem lane	
Tandem lane	OFF
Message	Pull Forward

[Tandem lane]

タンデムレーンの設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

ON： タンデムレーン

OFF： デュアルレーン

[Message]

レーンAの車両感知器がOFFの状態ではレーンBの車両感知器がONになったときにレーンBのオーダーポストスピーカーから再生されるグリーターメッセージを表示します。

メモ

- タンデムレーンについては「運用について」(4ページ)を参照してください。

ブラウザ操作

■レーン別設定の設定・確認を行う

レーン別設定の設定、設定の確認を行います。
画面を表示するには設定メニューパネルの [Lane] ボタンをクリックします。
Bレーンの設定、設定の確認を行う場合は [Lane B] タブをクリックします。(WX-CC412のみ)

Lane A

Lane B

Input volume (0-20)

Outside mic

11

AUX mic

11

Line in

11

Beep

11

Output volume (0-20)

Outside speaker

11

AUX speaker

11

Line out

11

AUX speaker (0-20)

Outside mic

ON / OFF

ON

Volume

11

Headsets

TALK

ON

PAGE

ON

Volume

11

AUX mic (ON / OFF)

ON

Beep

ON / OFF

ON

Volume

11

[Input volume (0-20)]

各入力の子機やオーダーポストスピーカーに出力するボリュームを表示します。ボリュームの範囲は0～20です。
この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

Outside mic： オーダーポストマイクのボリュームを表示します。

Aux mic： キッチンマイクのボリュームを表示します。

Line in： ライン入力のボリュームを表示します。

Beep： ビープ音のボリュームを表示します。

[Output volume (0-20)]

各出力のボリューム値を表示します。ボリュームの範囲は0～20です。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

Outside speaker： オーダーポストスピーカーのボリュームを表示します。

Aux speaker： キッチンスピーカーのボリュームを表示します。

Line out： ライン出力のボリュームを表示します。

[Aux speaker (0-20)]

キッチンスピーカーに出力する入力音源とそのボリュームを表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

Outside mic	ON/OFF	キッチンスピーカーにオーダーポストマイクの音声を出力するかどうかの設定を表示します。
	Volume	キッチンスピーカーに出力するオーダーポストマイクのボリュームを表示します。
Headsets	TALK	キッチンスピーカーに子機の [TALK] 音声を出力するかどうかの設定を表示します。
	PAGE	キッチンスピーカーに子機の [PAGE] 音声を出力するかどうかの設定を表示します。
	Volume	キッチンスピーカーに出力する子機音声のボリュームを表示します。
AUX mic (ON/OFF)		キッチンスピーカーにキッチンマイクの音声を出力するかどうかの設定を表示します。
Beep	ON/OFF	キッチンスピーカーにビープ音を出力するかどうかの設定を表示します。
	Volume	キッチンスピーカーに出力するビープ音のボリュームを表示します。

Device for Line in

Manager headset

ON

All headsets

ON

Outside speaker

OFF

AUX speaker

ON

None

OFF

Source for Line out

Manager headset

OFF

TALK

OFF

PAGE

OFF

AUX mic (ON / OFF)

OFF

Outside mic

OFF

Beep

OFF

Outside speaker

ON

DSP

Echo canceller
(OFF / LOW / MID / HIGH)

MID

Digital noise reduction
(OFF / LOW / MID / HIGH)

MID

ASLC

ON

V/Det camera

V/Det camera

OFF

Set

[Device for Line in]

ライン入力の出力先を表示します。ライン音声の出力先は全子機、キッチンスピーカーに出力されます。
ライン入力の出力先は、シリアルポートから設定することができます。詳しくは販売店へお問い合わせください。

ブラウザ操作

[Source for Line out]

ライン出力の入力音源を表示します。ライン音声の出力先はオーダーポストスピーカーに出力される音源と同じです。ライン出力の入力音源は、シリアルポートから設定することができます。詳しくは販売店へお問い合わせください。

[DSP]

音声信号処理に関する3つの機能(エコーキャンセラー、デジタルノイズリダクション、ASLC)の設定を表示します。
Echo Canceller: エコー抑圧レベルを表示します。(OFF/LOW/MID/HIGH)

Digital noise reduction:

ノイズ抑圧レベルを表示します。(OFF/LOW/MID/HIGH)

ASLC: 自動スピーカー音量制御を使用するかどうかの設定を表示します。

[V/Det camera]

車両感知器に連動してセンターモジュールの液晶画面にネットワークカメラの映像を表示することができます。液晶画面に表示するネットワークカメラを選択します。

OFF: ネットワークカメラは車両感知器に連動しません。

Camera 1/2/3/4: 車両感知器がONの時、連動してネットワークカメラの映像を液晶画面に表示します。

初期設定: OFF

メモ

- NWカメラの映像を出力させるには事前に接続するカメラの設定が必要です。接続するカメラの設定は設定メニューパネルの [Installation] ボタン→ [Camera] タブで行います。

■メッセージの設定を確認する

各種メッセージやスケジュールの設定の確認を行います。画面を表示するには設定メニューパネルの [Message] ボタンをクリックします。

●グリーターメッセージの設定を確認する [Greeter message]

車両感知器ONの時に再生するグリーターメッセージの設定確認を行います。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。[Message] ボタン→ [Greeter message] タブをクリックします。

Greeter message	Greeter schedule	Reminder message	Reminder schedule	Alert message
ON / OFF	ON			
Volume (0 - 20)	11			
Delay time (0-10s)	0s			
Destination	All headsets	OFF		
	AUX speaker	OFF		
No.	Message name	Upload	Download	
G01	Breakfast Greeter	Upload	Download	
G02	Lunch Greeter	Upload	Download	
G03	Dinner Greeter	Upload	Download	

[ON/OFF]

グリーターメッセージを使用するかどうかの設定を表示します。

OFF: グリーターメッセージを再生しません。

ON: グリーターメッセージを再生します。

[Volume (0 - 20)]

グリーターメッセージのボリュームを表示します。ボリュームの範囲は0～20です。

[Delay time (0 - 10s)]

車両感知器がONになってからグリーターメッセージを再生するまでの時間を表示します。範囲は0秒～10秒です。

[Destination]

グリーターメッセージ再生時、オーダーポストスピーカーの他に再生する放送先の設定を表示します。

• All headsets

OFF: どの子機にも放送しません。

ON: すべての子機に放送します。

• AUX speaker

OFF: キッチンスピーカーには放送しません。

ON: キッチンスピーカーに放送します。

ブラウザ操作

Message一覧表

各グリーターメッセージの個別設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[No.]

グリーターメッセージの番号が表示されます。

[Message name]

グリーターメッセージの名称が表示されます。

[Upload] ボタン

音源ファイルをアップロードし、グリーターメッセージとして使用している音源ファイルを差し替えます。

[Download] ボタン

センターモジュールからグリーターメッセージに使用している音源ファイルをダウンロードします。音源ファイルが存在しない場合はボタンをクリックできません。

重要

- 音源ファイルは以下のフォーマットです。パソコンで再生・編集する場合は対応のソフトウェアをご使用ください。
形式：ADPCM (G.726)
サンプリング周波数：8 kHz
量子化ビット数：4 bit
アップロードできる音源ファイルは上記フォーマットで20秒以内の音源ファイルに限ります。
- SDカードが挿入されていない場合、音源ファイルのアップロード、ダウンロードを行うことができません。

●グリーターメッセージのスケジュール設定を確認する [Greeter schedule]

グリーターメッセージのスケジュール設定を確認します。
[Message] ボタン→ [Greeter schedule] タブをクリックします。

Greeter message

Greeter schedule

Reminder message

Reminder schedule

Alert message

Mon

Tue

Wed

Thu

Fri

Sat

Sun

No.	Start time	Message
1	07:00	G01:Breakfast Greeter
2	11:00	G02:Lunch Greeter
3	17:00	G03:Dinner Greeter
4	23:00	G06:Midnight Greeter

[曜日]

選択した曜日のスケジュールを表示します。
スケジュールにはグリーターメッセージの切り換え時刻と再生するメッセージを表示します。

Schedule一覧

グリーターメッセージの切り替えスケジュールを一覧で表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[No.]

スケジュール番号が表示されます。

[Start time]

グリーターメッセージの切り換え時刻が表示されます。

[Message]

切り替えるグリーターメッセージのメッセージ番号と名称が表示されます。

ブラウザ操作

●リマインダーメッセージの設定を確認する [Reminder message]

従業員に対して作業を促すため、定刻に再生するリマインダーメッセージの設定確認を行います。[Message] ボタン→ [Reminder message] タブをクリックします。

Greeter message	Greeter schedule	Reminder message	Reminder schedule	Alert message	
ON / OFF		ON			
Volume (0 - 20)		11			
No.	Message name	Destination Group	AUX	Upload	Download
R01	Wash Hands	All headsets	ON	Upload	Download
R02	Cleaning Time	All headsets	ON	Upload	Download
R03	Restroom Cleaning	All headsets	ON	Upload	Download

[ON/OFF]

リマインダーメッセージを使用するかどうかの設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[Volume (0 - 20)]

リマインダーメッセージのボリュームを表示します。ボリュームの範囲は0～20です。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

Message 一覧表

各リマインダーメッセージの個別設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[No.]

リマインダーメッセージの番号が表示されます。

[Message name]

リマインダーメッセージの名称が表示されます。

[Destination]

リマインダーメッセージの放送先が表示されます。

• Group

リマインダーメッセージの放送先グループを表示します。

All Headsets：すべての子機に放送します。

Group 番号： 選択したグループに属する子機に放送します。

• AUX

リマインダーメッセージをキッチンスピーカーに出力するかどうかの設定を表示します。

OFF：キッチンスピーカーには放送しません。

ON：キッチンスピーカーに放送します。

[Upload] ボタン

音源ファイルをアップロードし、リマインダーメッセージとして使用している音源ファイルを差し替えます。

[Download] ボタン

センターモジュールからリマインダーメッセージに使用している音源ファイルをダウンロードします。音源ファイルが存在しない場合はボタンをクリックできません。

重要

- 音源ファイルは以下のフォーマットです。パソコンで再生・編集する場合は対応のソフトウェアをご使用ください。
形式：ADPCM (G.726)
サンプリング周波数：8 kHz
量子化ビット数：4 bit
アップロードできる音源ファイルは上記フォーマットで20秒以内の音源ファイルに限ります。
- SDカードが挿入されていない場合、音源ファイルのアップロード、ダウンロードを行うことができません。

ブラウザ操作

●リマインダーメッセージのスケジュール設定を確認する [Reminder schedule]

リマインダーメッセージのスケジュール設定を確認します。
[Message] ボタン → [Reminder schedule] タブ をクリックします。



No.	Start - Ending time	Interval	Interval time	Message
1	07:00 - 22:00	ON	01:00	R01:Wash Hands
2	10:30 - --:--	OFF	-	R02:Cleaning Time
3	15:30 - --:--	OFF	-	R02:Cleaning Time
4	22:00 - --:--	OFF	-	R04:Closed Preparation

【曜日】

選択した曜日のスケジュールを表示します。
スケジュールにはリマインダーメッセージの再生時刻と再生するメッセージを表示します。

Schedule 一覧

リマインダーメッセージの再生スケジュールを一覧で表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

【No.】

スケジュール番号が表示されます。

【Start - Ending time】

リマインダーメッセージの再生開始時刻と繰り返し再生時の終了時刻を表示します。

メモ

- 終了時刻は Interval が ON 設定時のみ表示されます。OFF 設定時は「- -」と表示されます。

【Interval】

リマインダーメッセージを繰り返し再生するかどうかの設定を表示します。

OFF： 開始時刻に一度だけ再生します。

ON： 開始時刻から定間隔でリマインダーメッセージを再生します。

【Interval time】

リマインダーメッセージを繰り返し再生する場合の繰り返し間隔を表示します。繰り返し間隔は 00:00 ～ 23:59 の分単位です。

【Message】

再生するリマインダーメッセージのメッセージ番号と名称が表示されます。

ブラウザ操作

●アラートメッセージの設定を確認する

[Alert message]

セキュリティアラート発生時に再生するアラートメッセージの設定確認を行います。[Message] ボタン→[Alert message] タブをクリックします。

Greeter message	Greeter schedule	Reminder message	Reminder schedule	Alert message	
ON / OFF		ON			
Volume (0 - 20)		11			
Delay time (0-10s)		0s			
No.	Message name	Destination Group	AUX	Upload	Download
A01	Door Open	All headsets	ON	Upload	Download
A02	Cashier Open	All headsets	ON	Upload	Download
A03	Headset Alert	All headsets	ON	Upload	Download

[ON/OFF]

アラートメッセージを使用するかどうかの設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

OFF： アラートメッセージを再生しません。

ON： アラートメッセージを再生します。

[Volume (0 - 20)]

アラートメッセージのボリュームを表示します。ボリュームの範囲は0～20です。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[Delay time (0 - 10s)]

アラートが発生してからアラートメッセージを再生するまでの時間を表示します。範囲は0秒～10秒です。

Message一覧表

各アラートメッセージの個別設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[No.]

アラートメッセージの番号が表示されます。

[Message name]

アラートメッセージの名称が表示されます。

[Destination]

• Group

アラートメッセージの放送先グループを表示します。

All Headsets： すべての子機に放送します。

Group 番号： 選択したグループに属する子機に放送します。

• AUX

アラートメッセージをキッチンスピーカーに出力するかどうかの設定を表示します。

OFF： キッチンスピーカーには放送しません。

ON： キッチンスピーカーに放送します。

[Upload] ボタン

音源ファイルをアップロードし、アラートメッセージとして使用している音源ファイルを差し替えます。

[Download] ボタン

センターモジュールからアラートメッセージに使用している音源ファイルをダウンロードします。音源ファイルが存在しない場合はボタンをクリックできません。

重要

- 音源ファイルは以下のフォーマットです。パソコンで再生・編集する場合は対応のソフトウェアをご使用ください。
形式：ADPCM (G.726)
サンプリング周波数：8 kHz
量子化ビット数：4 bit
アップロードできる音源ファイルは上記フォーマットで20秒以内の音源ファイルに限ります。
- SDカードが挿入されていない場合、音源ファイルのアップロード、ダウンロードを行うことができません。

ブラウザ操作

■セキュリティアラートの設定を確認する

子機のFボタンやアラート入力1～4でセキュリティアラート通知を受け取ったときの動作を確認します。画面を表示するには設定メニューパネルの[Security alert] ボタンをクリックします。

Trigger	Message	Camera monitor	Device control	Audio recording	Alert input delay time	E-mail
F button	A03 Headset Alert	OFF	OFF	ON	-	OFF
Alert 1	A01 Door Open	Camera 1	OFF	-	00:00	OFF
Alert 2	A02 Cashier Open	OFF	ON	-	02:00	OFF
Alert 3	OFF	OFF	ON	-	00:10	OFF
Alert 4	OFF	OFF	OFF	-	00:00	ON

Mail for F button

Destination E-mail address

Address 1:

Address 2:

Address 3:

Address 4:

Address 5:

E-mail subject:

E-mail body:

アラート一覧表

セキュリティアラートの種別とセキュリティアラート発生時の動作を表示します。

[Trigger] 列

各セキュリティアラートの種別を表示します。

[Message] 列

各セキュリティアラート発生時に再生するアラートメッセージを表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

OFF：アラートメッセージを再生しません。

メッセージ番号：アラートメッセージを再生します。

[Camera monitor] 列

各セキュリティアラート発生時に液晶画面に表示するネットワークカメラの番号を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

OFF：液晶画面にネットワークカメラの映像を表示しません。

カメラ番号：液晶画面にネットワークカメラの映像を表示します。

[Device control] 列

各セキュリティアラート発生時に外部制御出力を制御するかどうかの設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

OFF：制御しません。

ON：制御します。

[Audio recording] 列

子機のFボタンによるセキュリティアラート発生時にSDカードに通話音声进行録音するかどうかの設定を表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

OFF：通話録音しません。

ON：通話録音します。

[Alert input delay time] 列

アラート入力1～4が入力されてからセキュリティアラートを発生するまでの遅延時間を表示します。0秒から29分59秒の1秒単位です。

[E-mail] 列

各セキュリティアラート発生、終了のタイミングでメールを送信するかどうかの設定を行います。

ON：アラート発生、終了のタイミングでメール設定に従ってメールを送信します。

OFF：アラート発生、終了のタイミングでメールを送信しません。

初期設定：OFF

Mail for F button

子機のFボタンによるセキュリティアラート発生時、終了時に送信するメールの内容を設定します。アラート一覧で子機のFボタンによるセキュリティアラートを受け取ったときの動作にE-mailを設定した場合に有効になります。

[Destination E-mail address]

送信先アドレスを設定します。同報送信先を5つまで設定することができます。

入力可能文字数：3～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号@、_、-

[E-mail subject]

メールの件名を入力します。

入力可能文字数：0～50文字

[E-mail body]

メールの本文を入力します。

入力可能文字数：0～200文字

ブラウザ操作

メモ

- メールを送信する場合は事前にSMTPサーバーの設定が必要です。SMTPサーバーの設定は [Installation] ボタン→ [Server] タブで行います。
- メールの本文には以下の代替文字を使用することができます。代替文字はメール送信時に対応する文字列に変換されて送信されます。

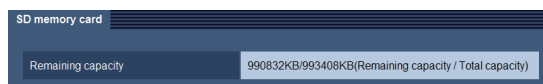
代替文字	変換後の文字列
%d%	アラート発生日 例) 05
%M%	アラート発生日 (英文字) 例) Feb
%m%	アラート発生日 (数字) 例) 02
%Y%	アラート発生日 (4桁) 例) 2014
%y%	アラート発生日 (下2桁) 例) 14
%t%	アラート発生日時刻 例) 15:00:00
%a%	アラート発生状態 アラート発生日: Alert Happened アラート終了時: Alert Stopped
%p%	アラート要因 Alert端子: Alert Input* (*は端子番号) 子機: "Headset"
%i%	センターモジュールのIPアドレス
%s%	Site Informationで入力した情報

Mail for Alert * (*: 1 ~ 4)

アラート入力によるセキュリティアラート発生日、終了時に送信するメールの内容を設定します。設定内容はMail for F buttonを参照してください。

SDカードの空き容量を確認する

センターモジュールに挿入されているSDカードの総容量と残容量を確認します。
画面を表示するには設定メニューパネルの [SD memory card] ボタンをクリックします。



[Remaining capacity]

SDカードの空き容量を表示します。「空き容量 / 総容量」で表示されます。

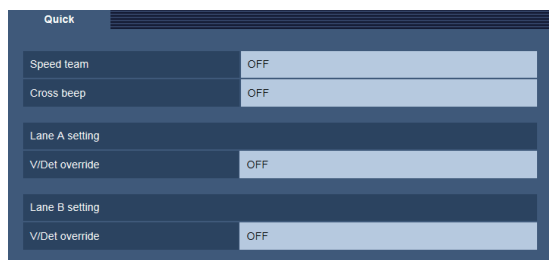
SDカードが未挿入の場合は「-----KB / -----KB」と表示されます。

ブラウザ操作

■ クイック設定を確認する

センターモジュールの  (クイック設定ボタン) をタッチして設定した運用設定を確認します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

画面を表示するには設定メニューパネルの [Quick] ボタンをクリックします。



[Speed team]

スピードチームの設定を表示します。

OFF： スピードチームで動作しません。

ON： 車両感知器を停止し、スピードチームで動作します。

[Cross beep] (WX-CC412のみ)

クロスビーブの設定を表示します。

OFF： 子機は所属するレーンの車両感知器がONのときのみビーブ音が聞こえます。

ON： 子機は所属するレーンに加え、他方の車両感知器がONのときもビーブ音が聞こえます。

Lane A setting

Lane B setting (WX-CC412のみ)

[V/Det override]

ブイディーオーバーライドの設定を表示します。

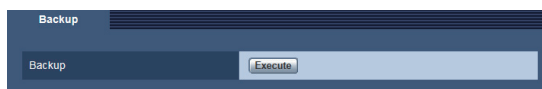
OFF： 車両感知器は車が接近したときにON状態になります。

ON： 仮想的に車両検知器をON状態にします。

■ 設定をバックアップする

センターモジュールの設定およびメッセージをバックアップすることができます。

画面を表示するには設定メニューパネルの [Backup] ボタンをクリックします。



[Execute] ボタン

クリックするとセンターモジュールの設定およびメッセージ用音源ファイルをパソコンにバックアップします。

メモ

- バックアップしたデータ（ZIPファイル）を解凍し、解凍後のフォルダをSDカードの以下のフォルダにコピーして、センターモジュールでリストアすればバックアップした時の設定に戻すことができます。
SDカードルート：
¥PRIVATE¥PANA_GRP¥PSN¥DWCS¥BACKUP
- SDカード未挿入時はメッセージ用音源ファイルのバックアップを行うことはできません。

ブラウザ操作

■ センターモジュールのメンテナンスを行う

機器固有の状態を確認したり、各種メンテナンスを行います。メンテナンスは保守担当者向けのメニューです。画面を表示するには設定メニューパネルの [Maintenance] ボタンをクリックします。

● センターモジュールを確認する [Status]

センターモジュールの DECT ID、MAC アドレス、UPnP のステータスを表示します。
[Maintenance] ボタン→ [Status] タブをクリックします。

Status	Recorded data	Log	Update	User mng.	System alert
DECT ID	Lane A	0000000000			
	Lane B	0000000000			
MAC address		00-00-00-00-00-00			
UPnP					
HTTP	Port number	80			
	Status	Disabled			
HTTPS	Port number	443			
	Status	-			
Router global address		-			
Reboot		Reboot			

[HTTPS]

HTTPS 接続時の情報を表示します。

- [Port number]

UPnP でポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

- [Status]

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

HTTP 接続時は、"-" になります。

[Router global address]

ルーターのグローバルアドレスが表示されます。

[DECT ID]

センターモジュールの DECT ID を表示します。

[MAC address]

センターモジュールの MAC アドレスを表示します。

UPnP

[HTTP]

HTTP 接続時の情報を表示します。

- [Port number]

UPnP でポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

- [Status]

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

HTTPS 接続時は、"-" になります。

ブラウザ操作

重要

- [HTTP Status] / [HTTPS Status] はルーターおよびセンターモジュールが起動してから10分以上経過後に参照してください。
- ポートフォワーディングの [HTTP Status] / [HTTPS Status] が表す意味と対応方法は以下のとおりです。

表示	意味	対応方法
－（表示なし）	動作していない接続方法です。	接続方式を変更する場合は [Installation] ボタン → [Network] タブで接続方式を設定します。
Disabled	ルーターのUPnP機能を利用したセンターモジュールのインターネットへの公開設定を行っていません。	[Installation] ボタン → [Network] タブの「UPnP」で「Auto port forwarding」を「ON」に設定してください。
Enabled	ルーターのUPnP機能を利用したセンターモジュールのインターネットへの公開設定が正常に終了しています。	－
Setting	ルーターのUPnP機能を利用したセンターモジュールの自動ポートフォワーディング設定を行っています。	ルーターに設定中ですので、しばらくお待ちください。
Deleting	ルーターに対してUPnP機能を利用したセンターモジュールの自動ポートフォワーディングを無効に設定にした後、ルーターのUPnP設定の削除を行っています。	ルーターのUPnP設定を削除中ですので、しばらくお待ちください。
Failed to set	ルーターがUPnPに対応していません。または、設定ができませんでした。	• ルーターのUPnP機能が無効になっている。ルーターの取扱説明書を参照して、UPnP機能を有効に設定してください。 • ルーターにUPnP機能がない。ルーターの取扱説明書に従い、ポートフォワーディング設定を行ってください。 • ルーターの電源が切れている。ルーターの電源を入れたあとに、センターモジュールを再起動してください。 • センターモジュールのネットワーク設定がStaticの場合、ネットワーク設定が間違っている。センターモジュールのネットワークのデフォルトゲートウェイ・サブネットマスクの設定を確認してください。 • UPnP対応ルーターを使用していて、有効になっていてもセンターモジュールがそのルーターに対応できない場合があります。その場合、ルーターの取扱説明書にしたがい、ポートフォワーディング設定を行ってください。
Failed to delete	ルーターに対してUPnP機能を利用したセンターモジュールのインターネットへの公開をしない設定にした後、ルーターのUPnP設定の削除に失敗しました。	

[Reboot]

[Reboot] ボタンをクリックするとセンターモジュールは再起動します。

重要

- ブラウザ操作から再起動させると、センターモジュールのLCDには警告が表示されずに再起動します。ブラウザから再起動する際は必ず運用状況を確認してから実行してください。

ブラウザ操作

● 通話録音の音源ファイルを取得する

[Recorded data]

子機のFボタン押下によるセキュリティアラート発生時に通話録音した音源ファイルを表示します。

[Maintenance] ボタン→ [Recorded data] タブをクリックします。

Status	Recorded data	Log	Update	User mng.	System alert
☐ Delete	File	Lane	Download		
☐	20130930_143430_A_01.WAV	A	Download		
☐	20130930_143408_A_01.WAV	A	Download		
☒	20130930_143345_A_01.WAV	A	Download		
☐	20130930_143325_A_01.wav	A	Download		
☐	20130930_143300_A_01.wav	A	Download		
☐	20130930_143242_A_01.WAV	A	Download		
☐	20130930_143224_A_01.WAV	A	Download		
☐	20130930_143447_A_01.WAV	A	Download		

Delete

[Delete] チェックボックス

通話録音の音源ファイルをすべてチェック状態にします。チェック状態の音源ファイルは [Delete] ボタンを押下すると削除することができます。

[File] 列

音源ファイルのファイル名が表示されます。

[Lane] 列

通話録音を行ったレーンが表示されます。

[Download] ボタン

センターモジュールから通話録音の音源ファイルをダウンロードします。

[Delete] ボタン

チェックボックスで選択した音源ファイルを削除します。

重要

- 音源ファイルは以下のフォーマットです。パソコンで再生・編集する場合は対応のソフトウェアをご使用ください。
形式：ADPCM (G.726)
サンプリング周波数：8 kHz
量子化ビット数：4 bit
アップロードできる音源ファイルは上記フォーマットで20秒以内の音源ファイルに限ります。

● ログを取得する [Log]

センターモジュールの動作ログをダウンロードします。
[Maintenance] ボタン→ [Log] タブをクリックします。



[Download] ボタン

ログファイルをダウンロードします。

重要

- ログの内容についてはお問い合わせいただいても回答できませんのであらかじめご了承ください。

ブラウザ操作

●ソフトウェアバージョンを確認する [Update]

ソフトウェアバージョンの確認を行います。また、ソフトウェアのバージョンアップを本画面から行うことができます。

[Maintenance] ボタン→ [Update] タブをクリックします。

System version		
System version		1.00R00
CPU version	IPL	1.00R00
	Application	1.00R00
BBIC version	BBIC 1	1.00R00
	BBIC 2	1.00R00
DSP version	DSP 1	1.00R00
	DSP 2	1.00R00

Update

Execute

[System version]

システムバージョンを表示します。

[CPU version]

CPUのバージョンを表示します。

[BBIC version]

BBICのバージョンを表示します。

[DSP version]

DSPのバージョンを表示します。

[Execute] ボタン

センターモジュールのソフトウェアをバージョンアップします。

●認証を設定する [User mng.]

ブラウザからセンターモジュールにアクセスする際の認証設定を行います。

[Maintenance] ボタン→ [User mng.] タブをクリックします。

Authentication: Digest or Basic (dropdown) [Set]

User ID change

New user ID: admin

Password change

Old password: [input]

New password: [input]

Confirm new password: [input] [Set]

[Authentication]

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

Digest or Basic : ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。

Digest : ダイジェスト認証を使用します。

Basic : ベーシック認証を使用します。

初期設定 : Digest or Basic

メモ

- [Authentication] の設定を変更した場合は、ウェブブラウザを閉じて、アクセスし直してください。

User ID change

[New user ID]

現在のユーザー IDが表示されます。ユーザー IDを変更する場合は新しいユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 4 ~ 32 文字

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号

!#\$%&'()*+,-./:;<=>?@_`~{|}~

ブラウザ操作

Password change

[Old password]

現在のパスワードを入力します。

入力可能文字数：4 ～ 32 文字

入力可能文字： 半角英数字、半角記号
!#\$%&'()*=~,;<>?_^-[]/@*.,;+¥

[New password]

新しいパスワードを入力します。

入力可能文字数：4 ～ 32 文字

入力可能文字：半角英数字、
半角記号 !#\$%&'()*=~,;<>?_^-[]/@*.,;+¥

[Confirm new password]

確認のため新しいパスワードを入力します。

入力可能文字数：4 ～ 32 文字

入力可能文字：半角英数字、
半角記号 !#\$%&'()*=~,;<>?_^-[]/@*.,;+¥

重要

- 複数のユーザー ID を作成することはできません。ユーザー ID を変更すると以前使用していたユーザー ID は削除されます。
- パスワードのみ変更する場合は [New user ID] に現在のユーザー ID を入力してください。
- ユーザー ID とパスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。

● システムアラート発生時のメール送付先を設定する [System alert]

センターモジュールを構成するデバイスに故障が発生した時にメールで通知することができます。ここではメールの送信先を設定します。

[Maintenance] ボタン→ [System alert] タブをクリックします。

[Destination Email address]

送信先アドレスを設定します。同報送信先を5つまで設定することができます。

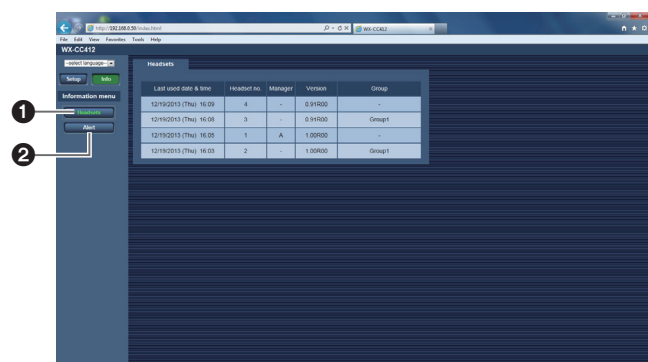
入力可能文字数：3 ～ 128 文字

重要

- 故障内容によってはメールで通知することはできません。

情報表示メニュー

[Info] ボタンをクリックすると、メニューパネルが情報表示メニューパネルに切り換わります。



① [Headsets] ボタン

センターモジュールに登録されている子機の状態確認を行います。

② [Alert] ボタン

センターモジュールで発生しているセキュリティアラートや故障発生アラートの状況確認を行います。

■子機の状態を確認する

センターモジュールに登録されている子機の状態を確認することができます。
本画面を表示するには情報表示メニューパネルの [Headsets] ボタンをクリックします。

[Last used date & time]

子機が最後に使用された日時が表示されます。

[Headset no.]

子機の番号が表示されます。

メモ

- 子機の番号は子機を電源起動したときに鳴動するボイスプロンプトで確認することができます。

[Manager]

マネージャー子機設定の子機を表示します。
Aレーンのマネージャーであれば「A」が表示されます。Bレーンのマネージャーであれば「B」が表示されます。
マネージャーでない場合は、「-」が表示されます。

[Version]

子機のソフトウェアバージョンが表示されます。

[Group]

所属する子機のグループが表示されます。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

■アラートの発生状況を確認する

センターモジュールで発生しているセキュリティアラートや故障発生アラートの状況を確認します。
本画面を表示するには情報表示メニューパネルの [Alert] ボタンをクリックします。

●セキュリティアラートの発生状況を確認する [Security alert]

現在発生中のセキュリティアラートを表示します。

Security alert		System alert
Initiation time	Cause	
12/19/2013 (Thu) 16:13:27	F button	
12/19/2013 (Thu) 16:13:11	Alert 1	

[Initiation time]

セキュリティアラート発生日時を表示します。

[Cause]

発生しているセキュリティアラートの要因を表示します。

情報表示メニュー

●システムアラートの発生状況を確認する

【System alert】

センターモジュールを構成するデバイスの故障情報を表示します。

Security alert	System alert
Initiation time	Cause

【Initiation time】

システムアラート発生日時を表示します。

【Cause】

発生しているシステムアラートの要因を表示します。

重要

- 故障発生アラートが発生するとセンターモジュールは運用を継続することができません。故障発生アラートが発生した場合は直ちに販売店にお問い合わせください。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現 象	原因・対策	参照ページ
ウェブブラウザからアクセスできない	● ネットワークコネクタにカテゴリ 5e以上のケーブルは接続されていますか？ → カテゴリ 5e以上のケーブルをご使用ください。	—
	● リンクランプは点灯していますか？ → 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	—
	● センターモジュールの電源は入っていますか？ → センターモジュールの電源が入っているか確認してください。	取扱説明書 設置編
	● 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ → 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで > ping ***.***.***.*** (***)はセンターモジュールに設定したIPアドレス)を入力してください。 センターモジュールから「Reply」が返ってくれば、正常に動作しています。 「Reply」が返ってこない場合は、センターモジュールでIPアドレスを確認してください。	取扱説明書 設定編
	● 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ → 重複している場合は、別のIPアドレスをご使用ください。	取扱説明書 設定編
	● ネットワーク・サブネットマスクの設定は正しいですか？ → 同一サブネット内にセンターモジュールとパソコンが接続されている場合： センターモジュールとパソコンのIPアドレスは共通のサブネットに設定してください。同一サブネット内のセンターモジュールにアクセスする場合は、センターモジュールのアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 → センターモジュールとパソコンが異なるサブネットに接続されている場合： センターモジュールに設定したデフォルトゲートウェイの値をご確認ください。	取扱説明書 設定編
	● HTTPS 機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ → HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	P.12
	● HTTP、HTTPS のポート番号を変更していませんか？ → HTTPポート番号やHTTPSポート番号が変更されている場合は、ブラウザのアドレスバーに「http://センターモジュールのIPアドレス:ポート番号」を入力してください。	—

故障かな！？

現 象	原因・対策	参照ページ
インターネットからセンターモジュールにアクセスできない	● センターモジュールのネットワーク設定が間違っていないですか？ → デフォルトゲートウェイまたはDNS サーバーアドレスを正しく設定してください。DDNS サービスを使う場合は、正しく設定されているか確認してください。	P.12 取扱説明書 設定編
	● ネットワークの設定で、[デフォルトゲートウェイ] を設定していますか？ → 正しく設定してください。	P.12
	● ルーターにポートフォワーディングが設定されていますか？ → お使いのルーターにUPnP 機能がない場合に、インターネットからセンターモジュールにアクセスできるようにするには、ポートフォワーディング設定が必要です。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。	P.13
	● ルーターのUPnP 機能が無効になっていませんか？ → お使いのルーターの取扱説明書を参照して、UPnP 機能を有効にしてください。	P.13
	● ルーターに、インターネットからのアクセスを禁止するパケットフィルタリングなどを設定していませんか？ → お使いのルーターを、インターネットからアクセスできるように設定してください。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書をお読みください。	—
	● ローカルネットワークで使用する時のIPアドレス（ローカルアドレス）でアクセスしていませんか？ → インターネットで使用する時のセンターモジュールのIPアドレスとしてグローバルアドレスと、センターモジュールのポート番号でアクセスしてください。	—
メッセージ用音源ファイルのアップロードができない	● SDカードが挿入されていますか？ → SDカードが挿入されていない場合、アップロードを行うことができません。SDカードが挿入されていない場合、設定メニューパネルの [SD memory card] ボタンをクリックするとRemaining capacityに「-----KB/-----KB」と表示されます。	P.26
	● SDカードの容量は不足していませんか？ → アップロードするファイルのサイズがSDカード残容量よりも大きい場合はアップロードを行うことができません。	P.26
	● SDカードがロックされていませんか？ → SDカードがロックされているとアップロードを行うことができません。	—
ネットワークカメラの映像をセンターモジュールで表示できない	● ネットワークカメラのIPアドレス、ポート番号はありますか？ ● ネットワークカメラの認証設定とありますか？ → ネットワークカメラ側の「ユーザー認証設定」と本機の「ネットワークカメラの設定」(15ページ「接続するネットワークカメラの設定を行う」) が同じであることを確認してください。	—

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** パナハ ヨイワ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからでも利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号